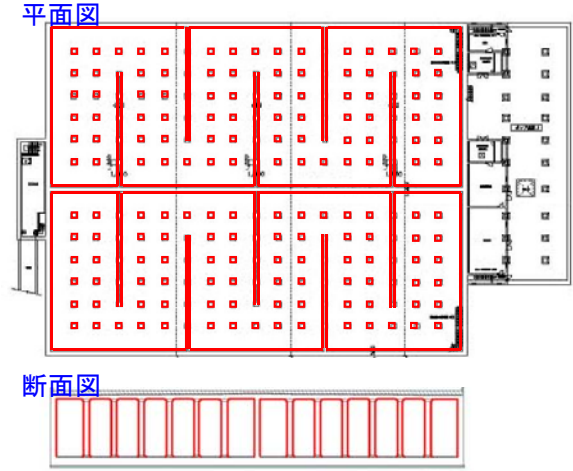


水道施設配水池 築造工事

新設配水池築造工事において、長寿命化を目的とした予防保全対策の表面保護工にCS-21が採用され、水槽内面（水道水が直接触れる部分を含む）に対し、CSⅡ工法にて施工を行った。
 （施工面積：約20,000㎡、施工箇所：外周壁および導流壁・柱・天井全面）



配水池 全景



施工箇所：赤線箇所



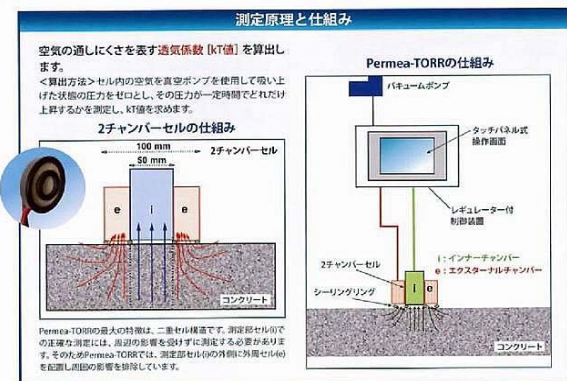
CS-21 塗布状況



CS-21 塗布状況

施工効果確認試験

本件では、CS-21の施工効果確認試験を表層透気試験（トレント法）により行った。外周壁部より任意に選定した12箇所の透気係数(kT)を、透気試験機（パーマ・ツール）にて施工前後に測定した結果、施工前平均 $0.99(\times 10^{-16} \text{m}^2)$ 、施工後平均 $0.66(\times 10^{-16} \text{m}^2)$ と、施工前に比べ施工後の透気係数が減少する傾向がみられたことから、表層部の緻密化による物質移動抵抗性向上効果（劣化抑制効果）が確認された。



測定原理と仕組み



試験状況